



オープンスペースでの舞台衣裳・美術展

初台アート・ロフト(Hatsudai Art Loft)

『時空をこえて-Across Time and Space-展』 開催のお知らせ



2023年春『時空をこえて-Across Time and Space-展』

2023年4月5日～8月下旬

入場無料

開場時間：8:00～20:00

会場：新国立劇場1階～3階のオープンスペース

新国立劇場では2023年4月5日より、オープンスペースにおいて初台アート・ロフト『時空をこえて-Across Time and Space-展』を開催いたします。

時空を超えた人生の旅を構想する屋根裏部屋「初台アート・ロフト」。アート作品である舞台衣裳に光を当て、新たな物語を創造します。2019年にスタートした「初台アート・ロフト」ですが、その後、舞台衣裳展として「ファンタジー展」「パレード展」「生命の木展」「神話への旅展」「想像力と技-素材と型-展」を実施してきました。

今回は、『時空をこえて-Across Time and Space-』と題し、時代や場所（空間）をこえた舞台作品がどのように受容され、舞台衣裳に表現されていったのか、という視点から舞台衣裳の魅力に迫ります。今回の展示では、新国立劇場開場25周年記念公演として4月5日より上演されるオペラ『アイダ』（1998年初演）をはじめ、オペラ『イル・トロヴァトーレ』（2001年初演）、『エレクトラ』（2004年初演）、『マノン』（2001年初演）、バレエ『パゴダの王子』（2011年初演）、『シンデレラ』（1999年初演）、『ラ・バヤデール』（2000年初演）、『ラ・シルフィード』（2000年初演）、演劇『天守物語』（2011年初演）の衣裳を通じて、舞台作品と舞台衣裳が辿った軌跡を間近でご体感いただけます。

また、衣裳展示に加えて、今回はオペラ『アイダ』及びバレエ『白鳥の湖』に関連したオブジェを展示するほか、前回の展示から引き続き約240枚以上の展示作品の写真を展示パネルにてご紹介いたします。実際の衣裳やオブジェと併せて、カメラのフィルターを通して表現された世界もお楽しみください。そして、マネキンに衣裳を着せる場合、「ヘッド」をどう表現するかが重要となります。今回は「ワイヤー・アート」を取り入れているところも大きな見どころのひとつ。衣裳やキャラクターのみならず、空間デザインにも表情をそえるワイヤー・アートの可能性にご注目ください。

前回展示に引き続き本展示テーマに沿ったゲストアーティストの参加作品として、三浦洋子氏、吉原颯乃氏、Mitsuru氏、塚本倫子氏による作品を展示いたします。「初台アート・ロフト」を通じて劇場全体でアートをご体感ください。

キュレーション：桜井久美

インスタレーション：アトリエヒノデ／渡邊健斗／青木美穂

マネキン製作：株式会社七彩

写真撮影：田中亜紀

映像撮影：森脇孝

小道具：新国立劇場 技術総括室

制作：新国立劇場 情報センター

📢 会期中に、「初台アート・ロフト」展示関連のワークショップ、講演会などの催し物を予定しております。詳細は後日ウェブサイトにてお知らせいたします。

■ 展示衣裳〈新国立劇場主催公演〉

・オペラ『アイーダ』

ラダメス／兵士
演出・美術・衣裳：フランコ・ゼッフィレッリ（1998年初演）

・バレエ『シンデレラ』

仙女
美術・衣裳：デヴィッド ウォーカー（1999年初演）

・バレエ『ラ・バヤデール』

ニキヤ／ソロル
美術・衣裳・照明：アリスティア・リヴィングストーン（2000年初演）

・バレエ『ラ・シルフィード』

シルフィード／ジェームス
美術・衣裳：ピーター・カザレット（2000年初演）

・オペラ『イル・トロヴァトーレ』

アズチューナ／ジブシーたち
美術・衣裳：クリスティアン・フローレンス（2000年初演）

・オペラ『マノン』

マノン／神父（デ・グリユー）
演出・美術・衣裳：ジャン＝ピエール・ポネル（2000年初演）

・オペラ『エレクトラ』

エレクトラ／クリテムネストラ
美術・衣裳：オラフ・ツォンベック（2004年初演）

・バレエ『パゴダの王子』

さくら姫／王子
美術・衣裳：レイ・スミス（2006年初演）

・演劇『天守物語』

富姫／薄
衣裳：太田雅公（2011年初演）

関連オブジェ（2023年、アトリエヒノデ作）

- ・オペラ『アイーダ』：「エジプトの詩」<美身体のアクセサリー>
- ・バレエ『白鳥の湖』：「飛ぶ」



オペラ『マノン』より
マノン



左：バレエ『ラ・シルフィード』シルフィード
中央：バレエ『パゴダの王子』さくら姫
右：バレエ『シンデレラ』仙女



演劇『天守物語』
富姫／薄

■ 展示作品〈ゲスト参加アーティスト〉

- ・三浦洋子 『Lady Triceratops』
- ・吉原顕乃 『FLORA フローラ 花の女神』
- ・Mitsuru 『止まらぬ物』
- ・塚本倫子 『The Three Dancers』



三浦洋子氏作品



左：塚本倫子氏作品／中央：吉原顕乃氏作品／
右：Mitsuru氏作品



初台アート・ロフトについて

「初台アート・ロフト」とは、2019年7月にスタートした新国立劇場内の公開空地（オープンスペース）を活用した展示です。空間全体をアートとしてクリエーションすると同時に、貴重な舞台芸術を文化資産として修繕・保存することにも力を入れています。

新国立劇場は、1997年の開場以来、25年にわたって先駆的な公演も含め、常に世界水準の公演を上演してきました。これまでに蓄積した当劇場の財産を活用し、我が国の舞台芸術振興の拠点としてのプレゼンスを高めるプロジェクトを進めています。その一環として舞台美術・衣裳展を定期開催しており、「初台アート・ロフト」を通じて、新国立劇場がいつでも舞台芸術に触れていただけるにぎわいの場になることを目指しています。

■ 取材等お問合せ

※今後の展示の様様替えについては、当劇場ウェブサイト（<https://www.nntt.jac.go.jp/>）にて順次お知らせしてまいります。

公益財団法人新国立劇場運営財団 広報室

広報第一係 松延・小松・西島

TEL：03-5352-5781（直通）

FAX：03-5352-5709

E-Mail：press@nntt.jac.go.jp

NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO

新国立劇場開場 25周年
25th ANNIVERSARY